



すみれ

令和5年5月26日

友達の力は大きい！

園長 本多 郁代



さくら組の二人は、連日、登り棒に夢中です。高く登ることはもちろんのこと、棒を横伝いに移動して別の棒から降りてくるなど、様々な技に挑戦しています。「こわ〜い」を連発しながらも、どちらかが新しい技を習得すると、「絶対できる！絶対できる！」と自分自身に暗示をかけるかのように大きな声で気合を入れ、それぞれがレベルアップを目指して再挑戦しています。「こわい」という恐怖心より、「負けたく

ない」「友達みたいにできるようになりたい」という気持ちが勝り、お互いに切磋琢磨する姿がまぶしいです。

でも所詮は二人、互いに練習を重ね見せ合うだけではマンネリ化してしまうところですが、今年度は他園との交流が適度なスパイスとなって、子供たちの意欲の継続に繋がっています。

例えば、牡丹山幼稚園のお友達とは、対面で触れ合う機会の他に ZOOM を通して交流をしています。互いにクイズを出し合ったり園での様子を紹介し合ったりして、あっという間に互いの名前を覚え仲良しになりました。すると「この技を牡丹山幼稚園のお友達にも見せたい！」という新たな思いが生まれ、その思いが原動力となり、さらに技の習得に力が入ります。

先日の ZOOM 交流では、技をお友達に見せたくて「ねえ、こっちにきて〜」と、牡丹山幼稚園のお友達に声を掛ける姿がありました。「おいおい、お友達は画面から跳び出してはこれないんだよ〜」と思いながらも、とても微笑ましい姿でした。そして、牡丹山幼稚園のお友達からも「すごいね！」「今度やりたい！」という感想をもらい大満足の二人でした。友達の力は本当に大きいと感じた瞬間でした。



また、小阿賀ほのぼのこども園のお友達が市之瀬幼稚園に遊びに来てくれた時にも、友達に、技を見せたりやり方を教えたりしていました。小阿賀ほのぼのこども園のお友達は 14 名。それに対し、こちらは 2 名。数の力では圧倒的になれない、気後れしても仕方のない状況の中で、生き生きと遊んでいる姿は、教職員にとっても嬉しい時間となりました。これからも沢山の友達と触れ合う中で、たくましく成長してほしいと願っています。



この他にも、今年度は、結幼稚園や西幼稚園のお友達とも交流する機会が沢山あります。友達の存在が、その子供にとって新たな発見や気づきを生み出し、新しい世界を切り開くきっかけとなっていくことでしょう。交流をしていただく各園に心から感謝しながら、これからも充実した保育となるよう努めてまいります。